

ふるさととくぢ



島地 花尾八幡宮



上八坂 宇気比神社



横野 荒神社



船路八幡宮



下八坂 入丸神社



小古祖 須賀神社

島地 出雲大社周防分院

2月3日、徳地各地で「節分祭」が行われました



伏野 熊野神社



堀 八雲神社(水神様)

目次

- 里山だより・歴史と民俗…2P
- とくぢで輝く・見てえーね聞いてえーね来てえーね…3P
- 行政だより…4P
- 行事カレンダー・地域拠点だより…5P
- ふるさと再発見・くらしのレシピ…6P



(2016年2月末現在)



下八坂 妙見社



とても暖かい
観音様でした！

グランドならしで
思いっきり運動！

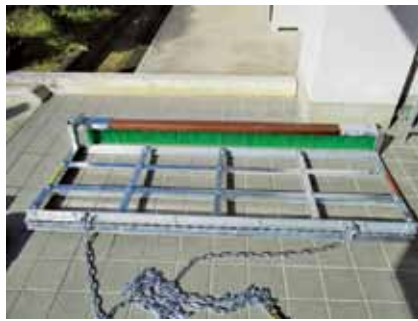
2月18日(木)の観音様は、珍しく暖かい日和(ひより)に恵まれたおかげで、たくさんの参拝客が訪れ、境内は賑わいました。

「上村のお薬師様、庄方の観音様、串の文殊様」を「徳地の三大ご縁日」と呼んでいるそうです。それぞれのご縁日が、地域の皆さんの協力で、昔のように賑わう日が来るといいですね。

(取材：池田特派員)

中央小学校に、地域の方々から「グランドならし」が寄贈されました。でこぼこのグランドでは、子供たちのかけっこや体操などに支障が生じます。これを車で引っ張れば、あっという間に平らなグランドになります。これで、安心して思いっきり運動できますね。ありがとうございました。

(取材：池田特派員)



表紙の写真から



花尾幼稚園

「節分祭」で賑わう！

～季節の変わり目をたき火で厄払い～

節分祭は、多くの祭りが消えた徳地でも大小あちこちの神社で健在です。2月3日、春を迎える日を前に、厄払いのたき火で健康や幸せを祈ります。神社では、地域の皆さんが寄り合い、たき火で温まり、お接待に腹鼓を打ち、くじ引きや豆まき、おしゃべりで楽しみました。

(取材：粟屋特派員、池田特派員、徳地づくり達人塾)

猿田彦大神 所在地 上村蔵場
国道三七六号線を、大町を通り周南市に至る。右は島地川と接近。左は、月輪寺薬師寺堂案内板から旧道に入り、右にカーブすると上村市。そのまま坂道を上り、人家の外れ、道の上に二つの大きな石があり、前が「猿田彦大神」である。その上には「天王社」がある。

像高 一一〇センチ
最大幅 七五センチ



塔身側面に天保五年(一八三四)と刻まれている。

像高 九二センチ余
正面幅最大 四〇センチ
台座高 八〇センチ
台座奥行最大 五五センチ

猿田彦大神 所在地 島地字西村
小丸橋上流島地川土手



【路傍の信仰 二十四】



上の林の中



天王社下

本道を上ると、右手の林の中、枯れ木や落ち葉に埋もれている。

猿田彦大神 像高 一二〇センチ
最大幅 六五センチ
台座高 三〇センチ
基壇高 七五センチ



天保五甲午(一八三四)正月初七日の銘が刻まれている。さらにこの道を行くと右側の道に、像高一〇六センチの「舟形光背石地蔵」がある。

編者 河野 正

とちで輝く

『奇兵隊のまら徳地』
に誇りを！

郷土史家 山田文雄さん (67)
徳地幕末維新歴史放談の会 代表



■生粋の徳地マン
山田さんのプロフィールを
ごく簡単にご紹介すると、申
育ち、佐波高卒という生粋の
徳地マンです。今は伏野に居
を構え、小古祖出身の奥様と
お住まいです。畑で野菜を作
り、味噌や干し柿、山葵漬け
など食品加工が好きでと顔を

崩されます。現役時代は、
国語の教師をされ、山口市
宮野の中学校校長を最後にご
退職されました。

■徳地の奇兵隊に惹か
れ・・・

25年ほど前、教育委員会
勤務のため徳地に派遣され
た3年間で、中学生向けの
ふるさと学習資料を作成さ
れたそうです。残念ながら
日の目を見ることはなかつ
たそうですが、その時に知っ
た徳地と奇兵隊の歴史につ
いて興味を持ち、退職を機
に火が付いたように文献調査
や地元の人々を訪ねたり、史
跡や昔の道を歩いたりといっ
た活動を始められました。

取材当日も、三田尻在陣中
の奇兵隊日誌や（萩、柚木、
岩国を通る）山代街道などの
資料に目を通しながら、往時
に思いを馳せて目を輝かせて
おいででした。

■徳地の奇兵隊が明治維
新の原動力

外国艦隊に敗れた長州藩の
新しい勢力が明治維新へと走
り抜けた原動力は、下関功山
寺の高杉晋作拳兵の2ヶ月前
に徳地で訓練強化した新式銃

の増強や戦法の転換にあつ
た・・・

欧米の植民地になることな
く、新しい日本へと切り開い
たのは、奇兵隊などに志願結
集した徳地の多くの若者が大
活躍したから・・・という誇り
を持ちたいものです。

■徳地が世界遺産の地
に・・・？

昨年、明治日本の産業革命
遺産として松下村塾等が世界
遺産になるきっかけを作った
萩のグループが徳地を訪れた
際に、山田さんが奇兵隊遺跡
や重源上人遺跡である法光寺
や月輪寺などを案内されまし
た。その際に、これはすごい、
世界遺産になり得るとの話が
出ていたそうです。何十年後
には、そんな夢が実現してい
るかも・・・

(取材：池田特派員)



昨年の夏祭り花火大会で
奇兵隊の衣装を着てステージPR



次月号のお知らせ

4月から「徳地学校めぐり（仮称）」が始
まります。

徳地地域の児童・生徒がどのような学校生
活を送っているか、地域の方とどのようなよう
にふれあっているかをお知らせしていきます。

掲載月は次のとおりです。お楽しみに！

掲載月	掲載月	担当学校
4月	10月	島地小学校
5月	11月	串小学校
6月	12月	八坂小学校
7月	1月	柚野木小学校
8月	2月	中央小学校
9月	3月	徳地中学校

行政だより

徳地地区人権学習講座

2月4日（木）山村開発センターで、社会福祉法人佐波福祉会 特別養護老人ホームとくち苑 柴本正子介護長による「介護現場からの人権」と題した講演がありました。

とくち苑での利用者様に対する介護の在り方や、利用者様がその人らしく暮らせるようにお手伝いしたり、また利用者様の尊厳を守るためにどうしたらいいか、苑内でも委員会を立上げ日々勉強されているそうでした。

講演会には多くの方々がお越しになり、いいお話が聞けたと口々に話しながらお帰りになっていました。

介護のことでお困りのことがあれば、遠慮なく「とくち苑」など地域の介護施設や徳地総合支所内の地域包括支援センターにご相談ください。



山口市徳地文化伝承館

治承4年（1180年）源平争乱で焼失した奈良東大寺再建の命を受けた俊乗房重源上人が、今から830年前（1186年）、徳地に入り東大寺再建のために杣事業に尽力しました。その主な事跡を文化伝承館で紹介しています。

ミニシアターでは、重源上人の人間像とその功績を映像により、徳地での活動の様子を模型やパネル写真などを用いて紹介しています。

その他に、山林、紙漉き作業で使われた民具や防石鉄道時代の資料や用具が展示してありますので、ぜひご覧ください。



とくち地域おこし協力隊が横浜のマルシェに出店



2月20日（土）、21日（日）に、横浜で開催された【横浜北仲マルシェ】に生産者さんと共に徳地のいいものを持ち

込み販売しました。首都圏では知られていない、やまのいもやカワラケツメイ茶を中心に、原木しいたけ、こんにゃく、味噌、徳地和紙等の販売とともに徳地の紹介をしました。

2日間とも大変多くの方が来場し、徳地の産品を買っていただきました。大好評でした。また機会があれば、徳地のいいものを紹介しに行ってきます。

（投稿：地域おこし協力隊 北川武典）

行事カレンダー

(3月15日～4月15日)

3月

- 15 火 **憩いステーションとくち**
(問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
- 16 水 **認知症者を支える家族の会**
(問) 基幹型地域包括支援センター徳地分室 ☎52-0670
- 18 金 **ぽかぽか森歩き & 珈琲焙煎体験**
(問) 国立山口徳地青少年自然の家 ☎56-0113
- 19 土 **徳地の郷ノルディックウォーキング**
(問) 国立山口徳地青少年自然の家 ☎56-0113
- 27 日 **春からはじめるすこやか森歩き**
(問) 森の案内人の会事務局 (徳地農林振興事務所内) ☎52-1122
- 27 日 **出雲地区ラジオ体操・ウォーキング**
(問) 出雲地域づくり協議会 ☎52-0217

4月

- 7 木 **定例健康相談・介護予防相談**
(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114
- 10 日 **第28回大原湖さくらロードレース大会**
(問) 大原湖さくらロードレース大会実行委員会事務局 ☎52-0217
- 13 水 **母子健康相談**
(問) 健康増進課健康づくり第三担当 ☎52-1114

フォトギャラリー



～ 雲海 ～

昨年12月24日午前9時頃に撮影した雲海です。撮影場所は徳地山村広場手前の陸橋の上です。

Wikipediaによりますと、雲海(うんかい)とは山や航空機など高い位置から見下ろしたとき、雲を海に例える表現で、山で見られる雲海は、山間部、盆地などでの放射冷却によって霧、層雲が広域に発生する自然現象だそうです。

雲の海に山々が島のように浮かんでいるように見えることから雲海と呼ばれるとのことです。

(取材: 粟屋特派員)

地域拠点だより

徳地中学校立志式

2月15日(月)、徳地中学校2年生全員による立志式が同校体育館で行われました。数え年で15歳、昔ならば元服の儀式にあたるこの式で2年生36名が各自の志を発表するとともに、家族や地域の方々への感謝の気持ちも新たにしました。その後、西宗寺住職 西村和茂様から、「むりをしないで なまけない」と題してご講話をいただきました。各自の志を実現させ、大きく成長してくれることを祈っています。



子育て支援センター すくすくハウス予定 ☎52-0662

- 3月 15日(火) 「おはなし会」
- 17日(木) ブックトーク
- 22日(火) 誕生会
- 4月 7日(木) はじめましての会 (お花見)
- 12日(火) シールで遊ぼう

27年度が終わり、また4月からよろしくお願ひ致します。親子でほっとできる場になればと思います。気軽に遊びに来てくださいね。

島地保育園内子育て支援室 のびっこ島地予定 ☎54-0563

- 3月18日(金) お楽しみ会 (10:00～11:30) みなさん、ぜひ遊びに来てくださいね!
- 4月15日(金) 第1回目

+ 休日・夜間診療のご案内 (防府市内)

- * 山口市内は市広報に掲載しています。どちらも利用できます。
- 【内科・小児科】** (受付 8:30～11:30、13:00～16:30)
防府市休日診療所 (鞠生町) ☎0835-24-4172
 - 【歯科】** (受付 8:30～11:30)
防府市休日診療所 (鞠生町) ☎0835-24-4172
 - 【外科】** 当番医療機関 (診療 9:00～17:00)
 - 3月20日(日) 桑陽病院 (車塚町) ☎23-1781
 - 21日(月) 秋本医院 (石が口) ☎22-5152
 - 27日(日) うちみち脳神経外科(石が口) ☎27-5880
 - 4月 3日(日) 寿町クリニック (寿町) ☎27-5577
 - 10日(日) 三田尻病院 (お茶屋町) ☎22-1110

【夜間救急病院】(平日、土日にかかわらず)

病院名(場所)	電話番号	3月・4月の開設日						
松本外科病院(天神)	☎ 22-1409	15	20	25	30	4	9	14
防府胃腸病院(駅南町)	☎ 22-3339	16	21	26	31	5	10	15
桑陽病院(車塚町)	☎ 23-1781	17	22	27	1	6	11	
緑町三祐病院(緑町)	☎ 22-3145	18	23	28	2	7	12	
三田尻病院(お茶屋町)	☎ 22-1110	19	24	29	3	8	13	



図書館 3月 / 21・22・24・28
休館日 4月 / 4・11

くらしの しじし

ふるさと再発見 ～幕末維新と徳地～

幕末徳地の偶然 —奇兵隊転陣の意義—

やまのいものあめ炊き



材料

やまのいも	500 g
揚げ油	適宜
油	大さじ 1
砂糖	120 g
水	大さじ 1
白ゴマ	小さじ 1

作り方

- ① やまのいもは皮をむいて拍子木に切り、酢水につけてアクをとる。
- ② ①の水気を切る。油を中温に熱してやまのいもを入れ、強火にして薄く色がつく程度に揚げる。
- ③ 鍋に油大さじ 1 を入れ、砂糖、水を加え、煮溶かし、泡が小さくなり、あめ状になったら、②と白ゴマを入れて手早くからめる。

一口メモ

徳地では、約 150 年前から栽培されていたと言われる伝統的な作物です。消化が良く、栄養豊富です。是非、お召し上がり下さい。

出典：やまのいもレシビ スイーツ編
(レシビ提供/むかご会・徳地生改連・㈱こ熊や
発行/やまのいも生産組合)

幕末長州と言えば、萩市や下関市、山口市や防府市がいつも話題となりますが、実はここ徳地も幕末の大きな舞台となりました。シリーズの最後としてまとめてみましょう。

明治維新は、東アジアの小国「日本」が徳川幕府を倒して、西洋先進国と肩を並べた大事業・大変革でした。それは長州、薩摩、土佐、肥前の西国4藩を中心に進められました。中でも長州藩は、他藩に先駆けて下関海峡で米・仏・英・蘭の四カ国艦隊へ砲撃を仕掛け、攘夷（外国を打ち払う）を決行したのです。しかし結果は完全な敗北でした。この敗北をきっかけにして、新しい考え方が藩内に生まれてきます。それが身分を超えて志ある者が銃を持つ“奇兵隊”と軍備の急速な西洋化、そして倒幕を成し遂げることでした。

元治元年（1864年）の長州藩は、藩庁の移転を含めて大混乱となっていました。それは、下関戦争での敗北、京都での敗北（禁門の変）、第1次長州征伐決定などで、保守派（俗論派）と革新派（正義派）とが激しい権力争いを繰り広げたのです。その混乱が、歴史の流れとは無縁の静かな「徳地」を、突然、歴史の表舞台に押し出してきたのです。

元治元年9月4日、奇兵隊日誌に“徳地”の文字が、突如現れます。その後、次々と“徳地”が出てき、10月20日、奇兵隊が徳地へ転陣・駐屯をしてきます。そこには、

- ① 芸州口から萩へと繋がる山代街道が、鹿野から串→堀を通して山口へ繋がったこと。
- ② 第1次長州征伐の決定で、石見藩と接していたことから国境の町となったこと。
- ③ 俗論派と幕府軍に対峙するには、堀の地形（山や川など）が戦略上有利だったこと。

さらには、幕末の歴代徳地代官が正義派で固められていたことなどが徳地転陣の背景となったのでしょうか。藩の役職名簿や奇兵隊日誌には、山田宇右衛門、玉木文之進、松島剛蔵（楫取元彦の兄）、

服部半七郎、山県有朋、高杉晋作、時山直八、中岡慎太郎（土佐藩士）など、正義派のそうそうたるメンバーが“徳地”の地名と共に現れてきます。

幕末の偶然は「徳地」を歴史の激流に置きました。しかし、それは輝かしい日本の近代化への歴史に、ふるさと徳地が大きく貢献した歴史として誇ってもよいのではないのでしょうか。（完）

（徳地幕末維新歴史放談の会 代表 山田 文雄）



槍（銃）部隊の「妙楽寺」跡
[堀深谷]



堀（濠）に見立てた佐波川・島地川
[堀出合付近]

発行 徳地地域づくり協議会

〒747-0231 山口市徳地堀 1533 番地 ☎0835-52-0217

[HP] <http://tokujichiiki.com> [e-mail] tokuji@tokujichiiki.com

企画編集 徳地づくり達人塾

[HP] <http://tokudzukuri.soreccha.jp/>

(印刷 株式会社ティーピーエス)